



● 地域提案型

平成24年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	インドネシア
2. 事業名	インドネシア・バブア州における水稲栽培技術向上支援事業
3. 事業の背景と必要性	バブア州政府では、農業機械の知識不足等により機械導入が生産効率の向上につながっていない現状がある。また病害虫診断・防除知識の欠如により、収量・品質の低下につながっている。 今回、農業機械知識や安価な病害虫防除対策を普及指導する人材育成の仕組み作りを支援することで、農業生産効率の向上及び収量・品質の向上を目指す。
4. プロジェクト目標	バブア州における農業機械および防虫外防除の基礎知識を農業普及員に普及させる
5. 対象地域	バブア州
6. 受益者層（人数規模）	本邦研修員9名（バブア州農業園芸局職員） バブア州の農業者・住民等（人口約280万人）
7. 活動及び期待されるアウトプット	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> バブア州職員が農業機械及び病害虫防除の基礎を習得すること 現在未整備の「農業機械活用指針」「病害虫防除手法」を策定する バブア州での生産現場において農業機械の基本知識・病害虫防除技術に関する講習が実施されること <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 本邦研修において農業機械全般、病害虫の診断・防除の基本知識を指導する 「農業機械活用指針」「病害虫防除手法」の作成 山形県内での農業技術普及研修の視察、山形県とバブア州における研修会プログラムの作成と試行、バブア州での研修会開催
8. 実施期間	2013年4月から2016年3月
9. 事業費概算額	21,312千円
10. 事業の実施体制	山形県農業総合研究センター、バブア州投資調整委員会、バブア州農政局
II. 応募団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	山形県
2. 対象国との関係、協力実績	1992年の技術研修員受入れ事業に始まり、1994年の姉妹県州締結など、両県州は農業・日本語教育・保健医療等様々な分野で活発に交流を行ってきた。 山形県で長期に学んだバブア州関係者は60人にのぼるなど、本事業を実施するにあたって十分な協力関係にある。